

## 「シー ハイル」

秋田県スキー連盟会長 田口 将

先人が築き上げ 90 余年の歴史を誇る秋田県スキー連盟の会長を仰せつかることになりました。これまで長く連盟と関わらせていただいていた分、その重責をひしひしと痛感しておりますが、これまでと変わらず会員はじめ関係各位の皆様のご理解とご協力を得ながら、共に歩み次の 100 年に繋げる役割の一端を担っていきたいと思っております。

この 2～3 年は会議も思うように開催できない状況が続き、会員の皆様とは顔を合わせる機会も少なくなり、やや距離感を感じ始めていたところですが、一方で大会や事業につきましては感染対策、日程や内容の見直しをするなど皆様の努力と工夫で相当部分開催できるようになってきました。又これを機に様々な新たなやり方というものも形作られていくのかもしれませんが。感謝を申し上げます。

ご存知のように去る 5 月 10 日には元副会長で全日本スキー連盟の理事も務められました上野満さん、同じく 20 日には竹本晴美さんがご逝去されました。これまでの連盟に対する多大なご功績に心から敬意と感謝を申し上げるとともに、ここに改めてご冥福をお祈りいたします。

さて昨シーズンはオリンピックイヤーで冬季北京オリンピック・パラリンピックがありました。本県からは向川桜子選手が様々な困難を乗り越えアルペン選手としては初めての出場を果たしました。テレビ画面上からではありましたが、失格者が続出する難コースの中出場した 2 レース共に完走し、ゴール後の達成感あふれる笑顔がとても印象的でした。連盟として誇りに思うと同時に県民にも明るい話題と大きな感動を与えてくれたものと思います。又教育本部事業である技術選における本県選手の活躍も見事でした。心から賛辞を贈りたいと思います。

第 77 回国民体育大会冬季大会スキー競技会が無観客ではありましたが鹿角市で無事に開催され、制約がある中、本県選手団も大いに活躍をしてくれましたし、第 46 回全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会も待ち望んでいたかのように多数の参加を得て、ともに 2 シーズンぶりの開催となりました。コロナ禍で大変な中、開催地をはじめ関係された全ての皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今期から 2 年間 S A J 東北ブロック連合の担当県になります。又低迷する秋田県スポーツ界を牽引するべく「チーム A K I T A」事業による少年組を中心とした競技力の向上対策、会員の減少対策等々山積する課題に対し、これまでも増して会員各位のご協力と特段のお力添えをいただきながら歩を一步ずつ前に進めていきたいと考えております。最後になりましたが、日頃から本連盟を応援していただいている皆様には改めて感謝を申し上げますとともに、今後とも事業運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。何よりも皆様のご健勝を一に祈念し挨拶とします。